

# Development of an electronic partogram for safe and secure labor management.

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/46497">http://hdl.handle.net/2297/46497</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



平成 28 年 8 月 24 日

## 博士論文審査結果報告書

報告番号 \_\_\_\_\_

学籍番号 1127022016 \_\_\_\_\_

氏 名 山崎 智里 \_\_\_\_\_

### 論文審査員

主 査（教授） 田淵 紀子 \_\_\_\_\_ 

副 査（教授） 島田 啓子 \_\_\_\_\_ 

副 査（教授） 大桑 麻由美 \_\_\_\_\_ 

論文題名 Development of an electronic partogram for safe and secure

labor management (安全・安心な分娩管理に向けた電子パルトグラムの開発)

### 論文審査結果

#### 【論文内容の要旨】

【目的】安全・安心な分娩管理に必要な観察・ケア記録をオンタイムでの確に伝達できる入力・表示支援機能を備えたシステムを開発し、臨床の有用性を探ることである。

【方法：開発手順】助産師へのインタビューを行い、電子パルトグラムの記録に関する障害・課題点が改善できるよう電子パルトグラムシステムを設計した。次に、開発したシステムにオンタイムで評価事例を入力し、正確に入力・表示されるか、また、分娩時の経過記録の記載内容を音声入力し、電子パルトグラムシステムの動作確認と精度の機能評価を行った。さらに、ユーザビリティ評価として、助産師への半構造化インタビューと調査用紙にてその有用可能性を評価した。

【結果】入力支援機能は、選択肢によるタッチ入力、音声によるテキスト入力、画像による状況入力を組み合わせることで、臨機応変に逐次入力が行えた。表示機能は、IDによる個人識別・保護、分娩進行情報およびケア・処置、それに伴う SOAP 等の記録を時系列で全体表示できた。また、選択肢入力等による記録の正確性と動作の安定性が確認された。音声入力は、一部誤変換されることがあったが 73%が正確に変換された。助産師によるユーザビリティ評価で有用可能性が示唆された。

【考察】今回開発したシステムの新規性は、オンタイムでの記録入力の実現と入力の容易さ、臨床実践に合わせた柔軟性の高い入力環境を設けた点にある。これにより、分娩に携わる医療者は、入力済みの記録から分娩進行状況やリスクを予測するのに役立てることができ、記録の活用と情報共有の促進が期待できる。また、音声入力の変換精度を上げることが課題として示唆された。

【結論】分娩経過における観察・ケア記録をオンタイムで記録できる入力・表示支援機能を備えたシステムの正確性と安定性が確認でき、臨床への有用性が示唆された。

#### 【審査結果の要旨】

本研究は、安全安心な分娩管理になくてはならない重要な記録であるパルトグラムの開発に着手したものであり、新規性ととともに、大変意義ある研究として今後の発展が期待される。開発にかかわった点やユーザビリティ評価等について質問があったが、的確に回答していた。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。